

婦人週間とは

昭和21年4月10日に 日本の婦人は
はじめて国会議員を選挙しました この
選挙から婦人も男子と同じく 政治
に参加することになりました

この4月10日を記念して 労働省で
は昭和24年から毎年 その日から一週
間を“婦人週間”として 婦人の地位
をたかめるための運動を主唱してきて
います 今年は その第21回目にあたり

婦人の能力を生かす

—— 自主的な生活設計をもって ——
ということをテーマとしています

このリーフレットの増刷 転載を
希望される場合は 労働省婦人少
年局 または各都道府県の婦人少
年室にご連絡ください

1969

自主的な生活設計を

あなたの能力を生かすために

第21回 婦人週間



労働省婦人少年局

リーフレット No. 110

みなおしてみよう 私たちの生き方や生活態度を

- ◇ 世の中の風潮や 流行に ふりまわされていないでしょうか
- ◇ ていさいやみえに こだわっていないでしょうか
- ◇ 生活態度が受身になって 自分で考えることがなくなっていないでしょうか
- ◇ 創意工夫や 自分らしさを生かすよろこびを 忘れていないでしょうか
- ◇ 計画性のない生活をしていないでしょうか

たとえば……

- ほんとに必要かどうかもたしかめないで まわりが買うものをつい買ってしまう
- 人のするレジャーをまねして むりをする
- 家事の合理化などでうまれた時間を なんとなくむだに過してしまう
- インスタント食品や既製品に頼りすぎて くらしに個性がなくなる
- はっきりした目的や十分な準備も なしに 外へはたらきに出る

など……

社会はめまぐるしく変わっています そのなかで婦人の役割も多方面にひろがってきました

私たちのくらし方や生き方に いろいろな可能性がひらけています

家庭で 職場で 地域社会で 能力が生かされることが必要になっています

あなたの能力をいかし

生きがいのある生活をするために

自主的な生活設計をたてましょう

そのために

自分で考え 行動する力を

創意工夫を生かす努力を

ひろい視野と 識見を

かしこい選択能力を

積極的な生活態度を

社会の一員としての自覚を

自分らしい生き方に 自信と誇りを